

第2章 経済生活とビジネス

(内容の範囲や程度)

経済生活を支えるビジネスの役割やビジネスの発展及びビジネスに対する望ましい心構えや考え方について、具体的な事例を通して理解させる。

1 ビジネスの役割

指導目標 生産・流通・消費という経済を支える仕組みと、経済主体としての家計・企業・政府の関係を理解させるとともに、企業が行う経済的諸活動の総称であるビジネスの意義や役割について、身近な事例を取り上げて理解させる。

| 指導内容 | 指導上の留意事項 | 参考資料・事例 |
|--|--|---|
| 1 経済のしくみ (1) 私たちの経済生活 (2) 経済のしくみ | <ul style="list-style-type: none">・衣食住に必要なものを手に入れる行為としてのしくみに興味や関心を持たせる。・家計・企業・財政の経済三主体間の商品・サービスと貨幣の流れを理解させる。・需要と供給のバランスによって経済が成り立っていることを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none">・衣食住に必要なものを具体的を挙げさせ、有形の商品と無形のサービスとに分類する。・経済三主体それぞれの役割を具体的に質問する。・アダム・スミスの「神の見えざる手」にも触れる。・市場価格の決定のメカニズムをグラフによって説明する。 |
| 2 ビジネスの働きと諸活動 (1) ビジネスの働き (2) ビジネスの諸活動 | <ul style="list-style-type: none">・生産・消費・流通を実現するのがビジネスであることを理解させる。・生産と消費の間に生じる隔たりを考えさせ、それを解消するためのビジネスが存在することを理解させる。・消費者のニーズを満足させるための生産、流通、サービス活動がビジネスであり、多面的な役割を担っていることを理解させ | <ul style="list-style-type: none">・経済三主体間の無限的な循環を説明する。・愛媛県の特産物であるみかんを例として挙げて説明する。・新しく市場に登場した商品・サービスを調査し、その背景や要因を研究させて発表させる。 |

| | | |
|-----------------------|----------|--|
| 評 価 の 観 点 | 関心・意欲・態度 | 市場経済におけるビジネスの役割について、自分から進んでまとめたり確認しようとしているか。 |
| | 思考・判断 | 市場経済におけるビジネスの役割について、様々な角度から考察しようとしているか。 |
| | 技能・表現 | 市場経済におけるビジネスの役割について、適切に資料を選択して活用しようとしているか。 |
| | 知識・理解 | 市場経済におけるビジネスの役割について、基礎的な知識を理解し、説明することができるか。 |

2 ビジネスの発展

指導目標 我が国におけるビジネスの発展について、国際化、情報化、サービス化、科学技術の進展等、経済を取り巻く環境の変化と関連させて理解させるとともに、地球環境問題、エネルギー問題への対応など新たなビジネスの課題にも触れ、ビジネスの創造の重要性について理解させる。

| 指導内容 | 指導上の留意事項 | 参考資料・事例 |
|--|--|--|
| 1 経済環境の変化とビジネス <ul style="list-style-type: none"> (1) 国際化とビジネス (2) 情報化とビジネス (3) サービス経済化とビジネス | <ul style="list-style-type: none"> ・企業の海外進出の歴史的背景を理解させるとともに、その現状を考えさせる。 ・安価な製造コストを期待して海外進出を計画・実行している場合や、企業間の資本・技術提携によって国際的な競争力を高めようとしている場合があることを理解させる。 ・情報ネットワーク化やマルチメディア化により、経済生活に大きな変化が生じていることを理解させる。 ・経済の発展により、第三次産業の生産高・就業人口の割合が増大する現象をサービス経済化と呼ぶことを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大手自動車メーカーが海外現地生産を決定した理由について、貿易摩擦という時代背景から説明する。 ・日本で生産する場合と海外で生産する場合の生産コストの違いを調べさせる。 ・地元の企業において海外進出によって国内工場が閉鎖・縮小されている例を挙げ、産業の空洞化についても説明する。 ・外国企業との資本・技術提携の具体例を挙げさせる。 ・情報のデジタル化によって生じた身近な生活の変化について発表させる。 ・マルチメディアを利用した新しいビジネスの具体例を挙げさせる。 ・コーリン・クラークによる「クラークの法則」にも触れる。 ・サービス経済化による新しいビジネスの具体例を挙げさせる。 |

| | | |
|------------------|---|---|
| (4) 科学技術の進展とビジネス | <ul style="list-style-type: none"> IT、バイオテクノロジーなどの技術の進展が、新しいビジネスを生み出すことを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 科学技術の進展による新しいビジネスの具体例を挙げさせる。 |
| 2 ビジネスの課題 | | |
| (1) 地球環境問題とビジネス | <ul style="list-style-type: none"> 環境保護ニーズに対応したビジネスが生まれたことを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 新聞記事等を切り抜きさせる。 エコビジネスの具体例を挙げさせる。 |
| (2) エネルギー問題とビジネス | <ul style="list-style-type: none"> 三つのEの調和が経済発展のために不可欠であることを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 新聞記事等を切り抜きさせる。 新エネルギービジネスの具体例を挙げさせる。 |
| 評価の観点 | <p>関心・意欲・態度</p> <p>思考・判断</p> <p>技能・表現</p> <p>知識・理解</p> | <p>市場経済におけるビジネスの発展について、自分から進んでまとめたり確認しようとしているか。</p> <p>市場経済におけるビジネスの発展について、様々な角度から考察しようとしているか。</p> <p>市場経済におけるビジネスの発展について、適切に資料を選択して活用しようとしているか。</p> <p>市場経済におけるビジネスの発展について、基礎的な知識を理解し、説明することができるか。</p> |

3 ビジネスに対する心構え

指導目標 ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行うための望ましい人間関係、社会性、倫理観など豊かな人間性と主体性、自己責任の観念、独創性などの創造的な能力を身に付けることの重要性に触れ、ビジネスに対する心構えについて理解させるとともに、起業家精神や企業経営に関する理念を取り上げて、ビジネスに対する望ましい考え方についても理解させる。

| 指導内容 | 指導上の留意事項 | 参考資料・事例 |
|--------------------------|---|--|
| 1 豊かな人間性 (1) 望ましい人間関係 | <ul style="list-style-type: none"> 望ましい人間関係を築くこと | <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なコミュニケーション能力を習得 |

| | |
|---------|--|
| (3) 倫理観 | ・企業やビジネスマンの社会的責任の重要性を理解する ・欠陥商品、悪徳商法など消費者の利益を害する事例を学ぶ |
|---------|--|

4 授業の展開例

(1) ビジネスの役割

ア 経済のしくみ

導 入 消費生活を中心として考えさせ、衣食住に必要な物を具体的に挙げさせる。

(発問) 「私たちはどのような物を消費して生活しているか。」 → 物の分類

「必要な物をどうやって手に入れているか。」 → 生産・流通・消費のしくみ

展 開 ① 物を有形財と無形財に分類させ、それぞれ商品・サービスと呼ばれることを理解させる。

| 有形財 | 無形財 |
|--------------|---------------|
| 住宅・衣服・米・果物 | 映画・マッサージ・理髪 |
| ジュース・靴・菓子・野菜 | 観光・音楽・病院(医療) |
| 自動車・文房具・カバン | 学校(教育)・塾(教育) |
| 書籍・パソコン・家具 | テレビ番組・広告・水泳教室 |
| 携帯電話(電話機)など | 携帯電話(通信)など |



商 品



サービス

② 経済の三主体はどう結びついているか考えさせ、商品・サービスや貨幣の流れが循環していることに気付かせる。

(発問) 「生活に必要なお金はどのようにして手に入るか。」

「企業と政府はどんな関係にあるのか。」

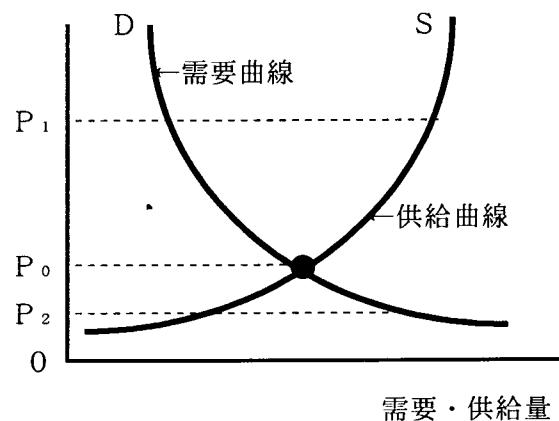
| | |
|--------|---|
| 家 計 | 企業や国家に勤めて <u>労働力を提供</u> し、給料を受け取る。 <u>土地・建物</u> を他人や企業に貸して、地代・家賃を受け取る。 企業に <u>出資</u> して配当を受けたり、 <u>資金</u> を貸し利息を受け取るなど。 |
| 企 業 | 商品や各種 <u>サービス</u> を提供し、代価を受け取る。 <u>土地・建物</u> を他人や企業に貸して、地代・家賃を受け取るなど。 |
| 政 府 | 行政 <u>サービス</u> を提供し、利用料金を受け取る。 家計・企業から <u>税金</u> を徴収するなど。 |

③ 需要・供給の意味を理解させ、市場価格の決定のメカニズムを理解させる。

(発問) 「価格が上昇(下降)するとき、需要量と供給量はどのように変化するか。」



右のグラフを読み取ることができるか確認する。



④ 価格の自動調節機能

アダム・スミスの「神の見えざる手」論

「各人が自らの利益を追求して自由に経済活動を営んでいれば、社会全体の調和がおのずから実現される。この場合政府は悪者だけ取り締まればよい。」



現代では、政府の経済への介入は不可欠である。

- まとめ
- ・今日の経済生活は、生産された物を購入して消費することによって成立しているが、そのすべての経済活動を支えている企業の活動がビジネスであることを理解させる。
 - ・自由競争市場における需要、供給、価格の概念を理解させる。

【評価の観点】

- ・有形財・無形財の意味を理解し、具体的な例を挙げられるか。
- ・経済の三主体の意味と相関関係を理解しているか。
- ・価格決定のメカニズムを理解しているか。

イ ビジネスの働きと諸活動

導 入 ビジネスの発達について、自給自足経済から歴史的に考させる。

(発問) 「自給自足経済ではビジネスは存在しなかったが、交換経済においてはどのようなビジネスが誕生したか。」

「交換経済が発達すると、特定の分野の生産を受け持つ者が現れ、生産と消費が分離するが、それを結びつけるビジネスは何か。」

展 開 ① あるみかん生産者における愛媛みかんの生産・流通について考えさせる。

| 生 産 | 流 通 | 消 費 |
|--------|---|-------|
| みかん生産者 | 人的隔たり・・・農協→仲買人→小売商（売買） 場所的隔たり・・・日本通運株式会社（運送） 時間的隔たり・・・農協倉庫（保管） 危険負担・・・東京海上火災株式会社（保険） 金融支援・・・農協金融部（金融） ※上記以外に、情報通信やサービス活動も含まれる場合もある。（インターネットによる直接販売の増加など） | 消 費 者 |

- ② 消費者の新しいニーズを満たすビジネスのキーワードを、社会生活の変化と関連づけて具体的に挙げさせる。

- a 環境保全 b 省エネルギー c 癒し d 軽・薄・短・小 e I T
f 高齢化 g 女性の社会進出 h 健康 i W杯 など

③ 生徒の挙げたキーワードに関連するビジネス分野を考えさせる。（新聞・雑誌の切り抜きを用意させる。）

（事例 新聞記事から）

プラズマディスプレー、電機各社が増産！ W杯でテレビ需要急伸

大手電機各社が相次いでプラズマディスプレイパネルの増産に動いている。サッカーW杯を契機にブラウン管よりも薄型・軽量化が図れるプラズマテレビの需要が急増しているためである。生産量が増えると量産効果で価格が安くでき、さらなる需要増が見込めるという好循環も期待できる。I T関連商品が総じて伸び悩む中で、各社は今後の有望分野として投資を増やす予定である。

④ 20年後、30年後に登場しそうなビジネスを予想させる。

（例）宇宙旅行関連ビジネス

まとめ ・社会的分業によって生産と消費が分離され、それを結びつけるために流通関連ビジネスが登場したことを確認する。

・経済の発展とともにビジネスが多様化してきたが、さらに消費者の新たなニーズを満足させるための新しいビジネスが登場している現状を認識させる。

【評価の観点】

- ・ビジネスの必要性を社会的背景からとらえているか。
- ・社会生活の変化によってビジネスが多様化していることを理解しているか。
- ・新しいビジネスについて、具体例を挙げられるか。

(2) ビジネスの発展

ア 経済環境の変化とビジネス

導 入 現代は国際化（グローバル化）時代だといわれているが、企業にとって海外進出や海外企業との合併・技術提携など、事例を挙げるのに苦労しない。ただし、ビジネスの国際化は、その年代によって背景や状況が異なっており、歴史的な流れを押さえさせる。

（発問）「自動車メーカーのホンダは1980年にアメリカに現地生産工場を設立したが、その理由は何ですか。」

（解答）「北米における貿易摩擦回避のための輸出の代替措置であった。」

（発問）「1980年代後半には、他のメーカーも欧米に現地企業を設立して生産を開始したが、その理由は何ですか。」

（解答）「円高による輸出の採算性の低下を避けるために、欧米における生産能力を増強するため。」

(発問) 「あるスポーツメーカーのテニスラケットは、すべて中国製です。なぜ日本で生産しないのですか。」

(解答) 「工場用土地・建物等の設備投資が格安であり、人件費・光熱費などの生産コストも安価な上、法人税の優遇措置もあり、競争力のある商品を生産できるから。」

展開 ① 「ソニーのグローバル・ローカライゼーション」

1970年代にソニーは生産の現地化をいち早く始め、マネジメントのしっかりした土台を欧米中心に作り上げてきた。80年代、輸出依存度の高い企業にとっては、「円高」が頭の痛い問題となっていた。ソニーは売上高の7割を海外市場が占めていたが、現地生産率は20%に過ぎなかった。高い円を使って日本で生産するのは割に合わないと考え、市場としても将来性のある東南アジア地域に九つの工場を設立した。ソニーの経営陣は、東南アジアを単に安価な労働力を供給してくれる場所だと考えるのではなく、「ハイテク製品を世界中に供給する拠点である」との理念を打ち出した。さらに、販売・生産に続き、研究開発やエンジニアリングという企業の中核部門も海外に進出させ、それぞれの地域で組織としてまとまるように計画を立てた。ヨーロッパにおいては、1986年、ドイツにソニー・ヨーロッパを設立し、ドイツ人を社長に任命した。アメリカにおいては、1987年、本社副社長がソニー・アメリカの会長として自らアメリカに渡り、「本当の国際企業になるためには、マニュファクチャリングとエンジニアリングの文化をアメリカにおいて育てなくてはならない」と、グローバルな見地による再構築に乗り出した。アジアでは、シンガポール

ソニー ハンク ムニル・トリ・シハノゴヨウ ル・モルト ニの机制と課オアレントナ



(発問) 「どのようなビジネスチャンスが生まれたか。」

- ④ 生徒の保護者の職業を、第一次産業から第三次産業に分類し、その割合を確認させる。生徒が将来希望している職業について第一次産業から第三次産業に分類し、その割合を確認させる。

参考資料 労働力調査による産業3部門別就業者割合

(単位：%)

| | 1970年 | 1980年 | 1990年 | 1999年 | 2000年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 第一次産業 | 17.4 | 10.4 | 7.2 | 5.2 | 5.1 |
| 第二次産業 | 35.1 | 34.8 | 33.6 | 31.1 | 30.7 |
| 第三次産業 | 47.2 | 54.6 | 59.7 | 62.1 | 62.7 |

導 入 (発問) 「今まで学んできたように、たくさんの種類のビジネスが登場して私たちの生活はたいへん快適になったが、マイナス面はないだろうか。」



公害による自然破壊・フロンガスによるオゾン層の破壊・エネルギーの過剰消費など、大きな問題が発生しているという回答を引き出す。

展 開 ① 環境・エネルギー問題に対応したビジネスに関する新聞等の記事を収集させる。

(事例 新聞記事から2002年6月)

燃料電池車世界初市販 トヨタ、年末から限定20台

トヨタ自動車は、次世代の低公害車として期待されている燃料電池自動車を当初予定より1年前倒しし、今年末から日米で年間計20台限定販売すると発表した。燃料電池車の市販は世界で初めてである。燃料電池車はスポーツ用多目的車が原型であり、昨年6月から公道で走行試験をしてきた。燃料の純水素は圧縮して搭載し、一度の充てんで300キロメートル程度走るという。

当初の販売先は政府関係機関や電力・ガス・石油などの関連企業などとし、販売はリース方式とする。当面は水素スタンドがある地域に販売を限定する計画である。

② 三つのE (economy・ecology・energy) の調和を考えた新聞記事を収集させる。

まとめ

- ・人間が物質的に豊かな生活をするためには、経済 (economy) の発展は不可欠であるが、環境 (ecology) を犠牲にした発展はいつかは文明を破壊してしまう可能性があることを理解させる。
- ・クリーンなエネルギー (energy) の開発を早急に実現させなければならない。そこに社会に貢献できるビジネスチャンスがあることを理解させる。

「いらっしゃいませ」「かしこまりました（承知いたしました）」
 「少々お待ちくださいませ」「お待たせいたしました」「ありがとうございます」
 「申し訳ございません」「おそれいります」
 ※生徒は起立し、服装を整え姿勢を正して発声し、礼をする。

- ② 企業における電話応対のロールプレイングによって、適切なコミュニケーションを身に付けさせる。

例題 松山商会の吉田が、伊予スポーツ店の西村さんからテニスラケット（R 20）100本の注文を受けたことを想定して、会話文を作成しなさい。

| 伊予スポーツ店 | 松 山 商 会 |
|---|----------------|
| | ベルが鳴る。 吉田「」 |
| 西村「松山商会の西村と申します。いつもお世話になっております。」 | 吉田「」 |
| 西村「商品の注文をお願いします。」 | 吉田「」 |
| 西村「テニスラケット、品番はR 20です。100本を7月31日までに納入してください。支払いは送金小切手でお願いします。」 | 吉田「」 |
| 西村「はい、それで結構です。」 | 吉田「」 |
| 西村「こちらこそよろしくお願ひします。」 | 吉田「」 |
| 受話器を置く。 | 受話器を置く。 |

(演技上の留意点) ・メモ、筆記用具を準備する。・ベルは3回ほどで受話器を取る。
 ・間違いがないか復唱する。・かけた方から受話器を置く。

例題 今治商事の中井が、宇和島商店の井上さんより現在外出中の大塚課長（上司）への

電話を受けたことを想定して、会話文を作成しなさい。

| 宇和島商店 | 今治商事 |
|--|----------------|
| | ベルが鳴る。 中井「」 |
| 井上「宇和島商店の井上と申します。おそれ いりますが、大塚課長さんをお願いしま す。」 | 中井「」 |
| 井上「そうですか。それでは伝言をお願いで きますか。」 | 中井「」 |
| 井上「明日、予定されていた当社での会議で すが、午前 10 時開始予定を午後 1 時 に変更いたしました。よろしければお 電話いただきたいのですが。」 | 中井「」 |
| 井上「はい、番号は 00-0000 です。」 | 中井「」 |
| 井上「はいそうです。どうかよろしくお願ひ します。」 | 中井「」 |
| 受話器を置く。 | 受話器を置く。 |

③ ある企業の就業規則を調査し、内容について考えさせる。

④ 企業の倫理観の欠如によって引き起こされた欠陥商品の販売や不正行為について、
事例を調査させて感じることを発表させる。

まとめ　・コミュニケーションがビジネスの円滑な進行のため必要であることを理解させる。
・企業やビジネスマンの社会的責任の重大さを理解させる。

【評価の観点】

- ・接遇用語を理解し、円滑に使うことができるか。
- ・ビジネスマンとしての心構えが身に付いているか。
- ・企業や社員の社会的責任を認識しているか。

イ 創造性

導入 (発問) 「将来就職した会社で、上司から不正行為を強要されたとする。その申し出

| | | | | | |
|---------|----|----------------|---|---------|--|
| 社名 | | | | 代表取締役 | |
| 業種 | | | | 目標月間売上高 | |
| 経営理念 | | | | | |
| 業務内容 | | | | | |
| 初期投資必要額 | 土地 | m ² | 円 | 備品 | |
| | 建物 | m ² | 円 | その他 | |

② 企業にとって、経営理念にはどのような意味があるかを考えさせる。

③ 我が国の起業家について調査・発表させる。

本田宗一郎（ホンダ） 盛田昭夫（ソニー） 松下幸之助（松下電器）
小林一三（阪急） 正力松太郎（読売新聞） 豊田喜一郎（トヨタ）など

④ 地域の起業家について調査・発表させる。

- まとめ
- ・社員一人一人の独創性と責任感が、新しい技術や商品を開発する原動力になっていることを理解させる。
 - ・ビジネスは単に利益を追求するだけの事業ではなく、人間が円満な社会生活を送るための手段でもあり、その経営理念の大切さを理解させる。
 - ・優秀な起業家は、明確な経営理念を持っていたことを理解させる。
 - ・企業の存続・成長には、その社会的な責任を果たすという企業モラルが不可欠であることを理解させる。

【評価の観点】

- ・独創的なアイディアを考えられるか。
- ・プレゼンテーション能力を持っているか。
- ・ビジネスマンとして新時代のビジネスに対応しようとする姿勢が見られるか。